

(速報)消費生活相談の概要<2022年4月～2022年12月>

東三河広域連合消費生活相談センター・相談室

令和5(2023)年2月

令和4年度(2022年4月～2022年12月)に寄せられた消費生活相談件数は、2,989件でした。前年同期と比べ、148件増加(5.2%)しています。一方、愛知県全体では約0.1%減、全国では約0.3%減となっています。

■相談者居住地別件数(表1-1)

構成比合算は計と一致しない場合があります

区分	豊橋市	豊川市	蒲郡市	新城市	田原市	町村※	その他	計	
2022年4月～2022年12月	1,568	696	297	147	195	15	71	2,989	
構成比(%)	52.5	23.3	9.9	4.9	6.5	0.5	2.4	100.0	
前年4月～12月	1,517	654	284	110	166	14	96	2,841	
対前年	件数(件)	51	42	13	37	29	1	△ 25	148
	率(%)	3.4	6.4	4.6	33.6	17.5	7.1	△ 26.0	5.2

※町村は設楽町・東栄町・豊根村の合計。その他は無回答。

■相談窓口別件数(表1-2)

構成比合算は計と一致しない場合があります

区分	総合センター	豊川センター	蒲郡センター	新城センター	田原センター	計	
2022年4月～2022年12月	1,612	714	303	162	198	2,989	
構成比(%)	53.9	23.9	10.2	5.4	6.6	100.0	
前年4月～12月	1,615	677	284	111	154	2,841	
対前年	件数(件)	△ 3	37	19	51	44	148
	率(%)	△ 0.2	5.5	6.7	45.9	28.6	5.2

○居住地別では、すべてのセンターで増加しました。

○窓口別では、新城センター・田原センターで大きく増加し、総合センターは減少しました。

○全体件数が増加した要因としては、インターネット通販の増加(前年同期742件→877件)が影響しています。なお、新型コロナ関連は減少(前年同期96件→71件)しました。

■相談者年代別件数(表2)

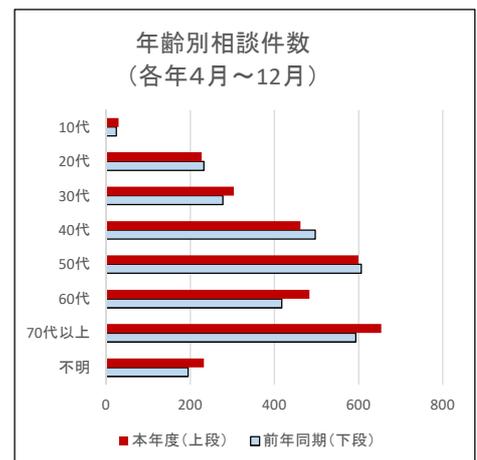
※構成比合算は計と一致しない場合があります

区分	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明	計	
2022年4月～2022年12月	29	227	303	462	599	483	654	232	2,989	
構成比(%)	1.0	7.6	10.1	15.4	20.0	16.2	21.9	7.8	100.0	
前年4月～12月	24	232	277	497	606	417	593	195	2,841	
対前年	件数(件)	5	△ 5	26	△ 35	△ 7	66	61	37	148
	率(%)	20.8	△ 2.2	9.4	△ 7.0	△ 1.2	15.8	10.3	19.0	5.2

○年代別では、20・40・50代が減少し、10・30・60代、70代以上が増加しました。

【内訳・詳細】

- ・「判断が不十分な方への契約」に関する相談は、82件で増加しました。(前年同期61件)
- ・「未成年者への契約」に関する相談は、56件で減少しました。(前年同期63件)
- ・「心身障がい者への契約」に関する相談は、129件で増加しました。(前年同期114件)
- ・「SNSを活用した商品購入など」への相談は、248件で大きく増加しました。(前年同期196件)
- ・絶対儲かると言われて、デジタルツールを購入する「情報商材」関連の相談は、29件で大きく減少しました。(前年同期46件)



■品目別相談件数(表3-1)

※構成比合算は計と一致しない場合があります

区分	商品計 ①	商品のうち主なもの				サービス計 ②	サービスのうち主なもの				他の相談計 ③	計 ①+②+③	
		商品一般	保健衛生品	教養娯楽品	食料品		教育・娯楽	金融・保険	運輸・通信	他の役務			
2022年4月～ 2022年12月	1,468	274	261	227	179	1,464	321	307	193	151	57	2,989	
構成比(%)	49.1	9.2	8.7	7.6	6.0	49.0	10.7	10.3	6.5	5.1	1.9	100.0	
前年4月～12月	1,355	263	201	187	206	1,411	334	304	207	129	75	2,841	
対前年	件数(件)	113	11	60	40	△27	53	△13	3	△14	22	△18	148
	率(%)	8.3	4.2	29.9	21.4	△13.1	3.8	△3.9	1.0	△6.8	17.1	△24.0	5.2

- ①商品計は、1,468件(前年同期比113件・8.3%)で増加しました。
商品分類では「商品一般」が最も多く、274件(前年同期比11件・4.2%)で増加しました。
次に化粧品の定期購入に関する相談を含む「保健衛生品」が261件(前年同期比60件・29.9%)で増加しました。
増加率の最も大きいものは「保健衛生品」、次いで「教養娯楽品」227件(前年同期比40件・21.4%)でした。
- ②サービス計は、1,464件(前年同期比53件・3.8%)で増加しました。
サービス分類では「教育・娯楽」が最も多く、321件(前年同期比△13件・△3.9%)で減少しました。

■商品等別相談件数(表3-2)

※構成比合算は計と一致しない場合があります

区分(順位)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
2022年4月～ 2022年12月	商品一般	フリーローン・サラ金	賃貸アパート	役務その他サービス	携帯電話サービス	修理サービス	他の健康食品	出会い系サイト・アプリ	アダルト情報	電気	
	274	135	76	72	59	58	56	54	43	42	
前年4月～12月	263	136	62	43	64	45	66	60	51	35	
対前年	件数(件)	11	△1	14	29	△5	13	△10	△6	△8	7
	率(%)	4.2	△0.7	22.6	67.4	△7.8	28.9	△15.2	△10.0	△15.7	20.0

- ・「役務その他サービス」は72件(前年比29件・67.4%)で大きく増加しました。
- ・「他の健康食品」は56件(前年比△10件・△15.2%)で減少しました。
- ・「アダルト情報」は43件(前年比△8件・△15.7%)で減少しました。

■販売購入形態別相談件数(表4)

※構成比合算は計と一致しない場合があります

区分	店舗購入	店舗外取引に関する相談					店舗外取引計	不明・無関係	計	
		訪問販売	通信販売	電話勧誘販売	マルチ商法	その他				
2022年4月～ 2022年12月	698	231	1,099	145	27	30	1,532	759	2,989	
構成比(%)	23.3	7.7	36.8	4.9	0.9	1.0	51.3	25.4	100.0	
前年4月～12月	693	246	968	143	47	31	1,435	713	2,841	
対前年	件数(件)	5	△15	131	2	△20	△1	97	46	148
	率(%)	0.7	△6.1	13.5	1.4	△42.6	△3.2	6.8	6.5	5.2

- 店舗購入は698件(前年比5件・0.7%)で微増しました。
- 店舗外取引は1,532件(前年比97件・6.8%)で増加しました。

【内訳・詳細】

- ・店舗購入では「賃貸アパート」に関する相談が47件(前年33件)で最も多く、次いで「脱毛エステ」が37件(前年3件)でした。
- ・店舗外取引では「通信販売」が1,099件(前年968件)で最も多く、次いで、「訪問販売」が231件(前年246件)でした。
- ・「訪問販売」では「新聞」が18件(前年20件)、次いで「電気」が12件(前年11件)でした。
- ・「通信販売」では「出会い系サイト・アプリ」が39件(前年44件)、次いで「美容液」が31件(前年10件)でした。
- ・「電話勧誘販売」では「海産物」の相談が12件(前年7件)、次いでインターネット回線の「光回線」の相談が6件(前年7件)でした。
- ・その他に含まれる「訪問購入」は21件(前年28件)と減少しました。

